

新たな翻訳技術の研究において、クラウドワーカーのノウハウを活用

友匠社

会社概要

業種 情報・通信
従業員数 1名
事業内容 調査・分析・企画提案、自動処理ツール作成、資料・図・サイト作成などの事業推進サポート

URL <http://youshowsha.jp/>

代表 **関根 佳子氏**

当社は現状を調査・分析し、より効率的・効果的に情報を活用・発信するための資料やシステムの企画・作成をさせていただき事業の立ち上げを検討していました。今回、大手製造業の企業と協業して、既存の翻訳技術の機能拡張による飲食店メニューの自動翻訳出力システムを企画・研究することになり、その活動の中で、翻訳サンプルの収集にクラウドソーシングを活用しました。

表現が難しいメニューの翻訳作業にクラウドソーシングを活用

協業先では、ドキュメント制作のアウトソーシングサービスを行っています。例えば販促物のカタログやマニュアルなどの制作を企業から受託し、適切なデザインにして納品するといった事業です。その中で、2020年のオリンピックに向けて需要が高まるであろう、飲食店のメニューを簡単に多言語化して提供するサービスの研究について、一緒に取り組むことになりました。飲食店にある日本語のメニューを、外国人客用に簡単に多言語に翻訳し、レイアウトし

て出力したものを提供できないかという研究です。

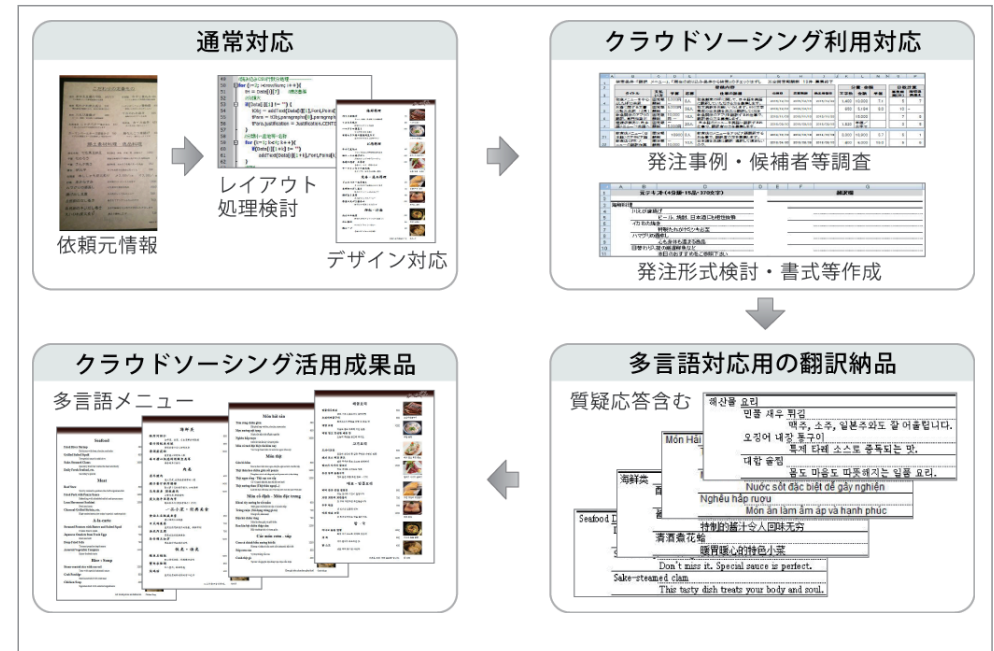
私は、効率的なレイアウト処理の検討やデザインなどには対応できましたが、翻訳については素人です。和食メニューは独特なものが多く、従来の翻訳技術では食材や調理方法を正確に表現することができないため、どのように翻訳すれば外国人に伝わるのか、クラウドソーシングを利用して翻訳（表現）のサンプルを収集することにしました。クラウドソーシングで発注するにあたっては、適切なサンプルメニューの選定から、翻訳結果を記載していただくためのフォーマットの作成などの仕様検討を重ね、さらに納品されたテキストデータを自動レイアウトできる仕組みを試作しました。

ワーカーのプロファイルを詳細に検討しあえて非公開でジョブを発信

翻訳する言語は英語、中国語、韓国語、ベトナム語の4つです。メニューの多言語翻訳サンプル収集をタスク形式で募集することになりましたが、品質確保の目的で、発注はプロジェクト型で非公開とし、ワーカーのプロフィールを確認したうえで、各言語につきできるだけネイティブで日本在住の方と、日本人で現地在住の方お一人ずつとなるよう配慮して2名ずつ、合計8名に発信しました。翻訳物の納品フォーマットを定めたことで、自動レイアウトへの流し込みもスムーズに行えましたし、何よりもチェックが簡単に済みました。きちんと翻訳されているかまではわからないものの、必要な項目数が納品されているかはすぐにわかります。そして項目別に分かれた翻訳を、最終的な一覧にまと

この課題を解決!!

- ✓ 人材確保
- 営業力強化
- ✓ 販路拡大
- コスト削減
- 商品・サービスの高付加価値化



めることも自動でできました。翻訳の品質チェックについては、機械翻訳や複数のワーカーのアウトプットを比較して、疑問に思ったところはすべて質問を出しました。例えばベトナム語でお互いに翻訳してもらおうと明らかに違うものがあり、それは北部地方と南部地方での言葉の違いだということが判明しました。あるいは表現が抜けているように見受けられたものでも、質問ができたことで、直訳すると違和感があるといった文化的背景なども確認できました。

クラウドソーシングは受注にも使える事業内容を全面的に再構築

もともとはクラウドソーシングに対して機械的に処理をする仕組みという印象がありましたが、実際に使ってみると、いろいろな面で信頼

性が担保されているからこそ使いやすかったと思います。クラウドソーシングの仕組みを使うと、一定の本人確認がされている方に発注ができる、かつ、お金のやりとりも直接ではなく仲介してもらえる、というところで安心感が持てました。今回、クラウドソーシングを利用したことで、これは当社が受注する側になることも可能と考え、今、事業内容の全面的な見直しをかけているところです。

また、協業先でも、従来のように多数の言語の翻訳を複数の専門企業に発注するコストと比較して、大幅にコストダウンがはかれたとのことですし、飲食店のメニュー翻訳ということにおいては、企業に依頼したものと一味違う成果を得られることもわかったようです。

今後は研究段階にとどまらず、次のプロセスでの活用も検討されるのとのことでした。